

平成30年度 行政評価表:市民センター

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善													
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)						事業評価の成果指標(目標・実績)						H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)					
			指標名等		H29年度		H30年度		指標名等		H29年度		H30年度		決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はあるか	評価の理由	コスト削減余 地はあるか	事業 評価	1次評価(担当者評価)		2次評価						
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績								達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由	R2年度予算要求の方向性	所属長評価	
文化活動 の推進	市民センター 改修事業(継 続費運次繰越 含む)	市民センターは建設から平成30年10月には26年が経過し、経年劣化に伴い設備の更新が必要となっており、特にふれあいプラザの空調については、故障が頻発に発生し、修繕を繰り返している状況であったため、平成29・30年度に継続事業として空調設備の改修を行った。平成29年度事業費のうち、施工監理業務委託料及び空調設備改修工事の一部2,939千円を30年度に運次繰越した。	改修工事件 数	件	1	1	100%	1	1	100%	改修工事件 数	件	1	1	100%	1	1	100%	56,225	62,103	61,754	中	空調改修により快適な利用環境を提供できるようになった。	なし	空調改修にあたっては、適正な価格で工事ができるように設計を行っている。	維持	平成4年に建設された市民センターは、施設設備・機器等の更新時期を既に過ぎている。施設を健全に維持運営していくためには、優先度の高いものについて、予算を平準化した改修・更新が必要である。	ふれあいプラザ空調は完了したが、文化ホールの空調については、令和元年度で分解点検整備等を行う計画である。分解点検整備等の結果、新たに空調機器の改修が必要となった場合は、令和2年度に向けて予算要求を行うこととし、空調改修の完了後は、舞台の吊物、音響設備、照明設備等のうちホール運営に関し優先度の高いものから予算要求していくこととしている。	拡大	市民会館大ホールは閉鎖する方向であり、市民センター文化ホールは万全の状況にしておく必要がある。よって、空調設備や照明設備等の計画的改修を進める必要がある。